放射線科プログラム

【研修目標】

放射線科では、放射線画像診断・ＩＶＲ・放射線治療の３分野を研修します。卒後３～５年目をレジデントとして採用し、レジデントに対しては基礎的事項の再確認の後、必要に応じて解剖学・放射線生物学・放射線物理学の分野の再履修を複数の指導医の下で行います。卒後４年目以降のレジデント B,C では専門分野を選択し、研修期間終了後は日本医学放射線学会専門医並びに日本放射線腫瘍学会認定医の資格取得を到達目標とします。また、レジデントには大学院入学を奨励し、支援します。

【レジデント A（卒後３年目）カリキュラム】

（１）放射線診断（画像診断）及びＩＶＲ

ＣＴ・ＭＲＩ・血管造影・超音波等各種画像診断を、脳神経腹部骨軟部等の全ての領域の適応・検査手技・読影診断について履修します。また各種ＩＶＲについて肝動脈塞栓術・ＰＴＡを中心にその適応判定し、専門医とマンツーマンで手技を修得します。また、一般臨床医としての外来・入院患者の管理をグループで行います。毎週レジデント対象に専門医３～５名の体制で、画像診断のための解剖学を再履修、その後臨床症例の演習で確実な読影力を養います。また検査現場ではレジデント単独ではなく指導医が付き添い、現場に即した禁忌・臨床技術を指導します。

（２）放射線治療

放射線治療学の基礎として、放射線生物学・物理学を履修します。また治療効果判定のための画像診断の基礎を学びます。臨床現場では外来で放射線治療の適応から患者とのコミュニケーション、インフォームド・コンセントの実際を専門医指導により習得します。

また、毎週新患に対する３次元治療計画のシミュレーションを行い専門医と検討します。病棟では腫瘍専門医の指導により放射線治療や化学療法中の患者管理を習得します。

さらに、チーム医療の評価を看護師・放射線治療医技師から受けていただきます。

註：卒後３年目研修中に麻酔科・疼痛制御科、超音波センター、感染制御部、ICU の４科のうちいずれかで、希望により３ヶ月勤務を行うことができる。

【レジデント B,C（卒後４～５年目以降）カリキュラム】

レジデント B,C としてのカリキュラムは下記の専門分野の研究課題を中心に指導医の下で、臨床研究・学会活動を行います。日常臨床では関連病院での研修・アルバイトを行います。

（１）画像診断、核医学・ＰＥＴ

① ３次元ＣＴ画像での脳外科・胸部外科・泌尿器科におけるナビゲーション手術支援研究
② 頭部ＭＲＩファイバートラッキング撮影での脳外科手術支援診断研究
③ ＭＲＩ拡散強調画像による腫瘍や炎症の診断精度向上の研究
④ 外科的肝切除・肝移植のためのＣＴシミュレーションソフトの開発
⑤ フラットパネルディテクター搭載血管撮影装置によるコンビームＣＴの開発
⑥ 核医学検査の手法・読影の習得
⑦ ＦＤＧ－ＰＥＴの手法・読影の習得

（２）ＩＶＲ

① 肝癌の化学塞栓療法（TACE）及びリザーバによる間欠的動注化学療法

② 門脈圧亢進症・胃食道静脈瘤に対するＰＴＯ・ＢＲＴＯ

③ 内臓動脈瘤・肺動静脈奇形・血管奇形に対するコイル塞栓術や経皮的硬化療法

④ 動脈硬化性病変に対する血管形成術

⑤ 出血に対する緊急塞栓術（消化管出血、術後出血、肝脾挫傷、産後出血等）

⑥ 肝癌に対する TACE 併用 RFA 治療

⑦ 経皮的生検・ドレナージ術

⑧ 骨粗鬆症・骨転移に対する経皮的椎体形成術

（３）放射線治療

① 放射線障害の予測シミュレーションシステム開発

② 放射線治療障害監視システムの構築

③ 放射線障害予防薬剤の臨床開発

④ 骨髄移植前の全身照射治療

⑤ 食道癌・直腸癌の術前放射線治療

⑥ 乳癌乳房温存療法

⑦ 高精度放射線治療（IMRT,IGRT,SRT）

⑧ 前立腺癌に対する密封小線源治療

⑨ 高線量率腔内照射

【カンファレンス、症例検討会、抄読会】

（月）	8：30～9 ：10	放射線治療カンファレンス（合同）
	13：30～15：00	病棟回診・症例検討会
	18：00～18：30	腹部放射線ＩＶＲ症例検討会
（火）	17：30～18：00	乳腺病理放射線合同カンファレンス
	19：00～20：00	呼吸器カンファレンス
（水）	8：00～8：30	泌尿器カンファレンス
	17：30～19：30	神経放射線カンファレンス
（木）	8：00～9：00	放射線治療カンファレンス《医師のみ》
	16：20～16：50	放射線治療症例検討会
（金）	16：30～17：30	高精度放射線治療計画症例検討会
	17：30～18：30	医局会・抄読会・症例検討会

その他、脳外科・神経内科・小児科・小児外科・歯科・耳鼻科等と定期的に合同カンファレンスを行っています。

【指導体制】

当科では２年間の初期研修（スーパーローテーション）終了後に専門医育成のための研修プログラムを用意しており、放射線画像診断・ＩＶＲ・放射線治療・神経放射線診断の各分野に放射線科専門医・ＩＶＲ学会指導医及び放射線腫瘍学会認定医の有資格者が指導医となり個々の指導にあたります。教授は最終的に全領域を統括します。

【関連病院】

市立芦屋病院、宝塚市立病院、北大阪けいさつ病院、明和病院、尼崎中央病院、笹生病院、大隈病院、協立病院、ささやま医療センター

【指導医】

主任教授：廣田　省三（指導責任者）　　教　授：上紺屋　憲彦
准教授：石藏　礼一　　准教授：山門　亨一郎
講　師：山野　理子　　講　師：小林　薫　　講　師：山本　聡

【研修統括者】

主任教授：廣田　省三

【問い合わせ先】

兵庫医科大学放射線科医局　上紺屋　憲彦
TEL：0798-45-6362　E-mail：kamikon@hyo-med.ac.jp